

2021年5月度 定例所長会見 所長所感

- 福島第一原子力発電所の事故により、今もなお、大変多くの皆さまに、ご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、あらためまして心よりお詫び申し上げます。
- また、「核物質防護事案」や「安全対策工事の一部未完了」につきまして、地域の皆さまをはじめ、広く社会の皆さまに、大変なご不安をおかけしておりますこと、また、ご不信を与えておりますことについて、改めて深くお詫び申し上げます。
- 本日、私からは2点お話しいたします。

< 1. 新型コロナウイルスへの対応状況について >

- はじめに、当発電所における新型コロナウイルスへの対応状況についてです。
- 先月から、当発電所に勤務する当社社員や協力企業の方々の感染が断続的に発生しており、地域の皆さまには大変なご心配をおかけしました。
- また、医療関係の皆さま、保健所など関係機関の皆さまには、大変なご負担をおかけいたしました。
- 一連の感染者の発生に伴い、保健所の指導に基づくPCR検査だけでなく、当社および協力企業が自主的にPCR検査を行っているところです。

- 現在、自主検査における宅配検査キットの活用など、検査体制の充実化を進めております。
- また、構内での接触機会を少なくする観点から、発電所構内の作業は、先月 28 日から今月 9 日までの間、原則中止といたしました。
- 当社社員の出勤率については、16 日までは 50%程度、その後も 66%程度を継続する予定です。
- 引き続き、当社社員、協力企業が一体となり、感染拡大防止に向けた取り組みを徹底してまいります。

< 2. 新入社員の配属について >

- 次に、新入社員の配属についてです。
- 当発電所に、4月から72名の新入社員が新たに配属されました。その中には、地元新潟県の学校を卒業した社員15名が含まれております。
- 今年の新入社員は、入社前に核物質防護事案や工事一部未完了の発生を知り、不安な気持ちを抱えながら入社を迎えたことと思います。
- 私は初日のあいさつの中で、地域の皆さまも同じく不安な気持ちであるということ、東京電力の社員として、このことを一人ひとりが強く意識し、地域の一員として誠実な振る舞いをしてもらいたいことを伝えました。

- 新入社員からは「身近にある発電所と地域の安心・安全を支える仕事がしたい」、「大学で学んだことを活かし、地域の皆さまに安心していただける発電所作りに貢献したい」といった前向きな意気込みを聞くことができました。
- 新入社員は現在、原子力設備の基本的な知識を研修で学んでいます。また、発電所が立地地域である柏崎市・刈羽村の皆さまとともに歩んできた歴史についても学んでおります。
- 彼らが少しでも早く、社員としての責任と知識を修得できるよう、しっかりと育ててまいります。

<結び>

- なお、工事一部未完了を受けた総点検については、現在、点検エリア・点検内容・今後の点検の方向性について精査しているところです。
- 原因分析等も含め内容がまとまり次第、お伝えさせていただきますので、もう少々お時間をいただきたいと思いますと考えております。
- 本日、私からは以上です。

以 上